

# たんぽぽだより



## コロナがもたらしたものの

施設長 浅見 僚子

たんぽぽから「コロナの対応について」のお知らせを初めて発信したのは、2020年2月末でした。その時はまさか、2年以上の間ウィズ・コロナの日々が続くとは思っていませんでした。

コロナ禍は、人と人とを分断し、物理的な分断が心理的な分断をもたらしています。言いようのない不安や閉塞感が常に胸の内に入り、さらには経済的な打撃や社会的な孤立が大きな課題となっています。

たんぽぽでの状況は、密を避けるため、通所日程を調整させていただいたり、楽しみにしていた行事が次々と中止になったり、休み時間に仲間と楽しくおしゃべりすることもままならない日々が続いています。また、コロナ感染を避けるため、自宅で過ごすことが多くなされた利用者様の体力や生活リズムの乱れなども心配されるどころです。ご家族の皆様もご苦労されていらっしゃる事とお察しいたします。

さて、コロナが収束したあと、社会はどのようになってしまうのでしょうか。アフターコロナになっても、「元の生活、元の社会には戻らない」と言われています。

コロナが我々にもたらしたものは、決してマイナスのことばかりではなく、様々な気付きを与えてくれました。コロナがもたらした分断が、人と人・地域間・コミュニティ間における『協調・連携』の重要性を再認識させてくれました。新しい生活様式や働き方の変化によって新たな価値観が生まれています。

おうち時間を充実させるため、「巣ごもり消費」が活発になったり、家族とのふれあいを大切に考えたりする人が増えています。昭和的働き方も終焉をおかえ、テレワークやオンラインツール活用による効率化が進んでいます。

コロナの話題をきっかけとして、地球環境や大量消費問題など、社会の持続可能性について真剣に考えることが多くなって「SDGs」への関心が高まってきています。

たんぽぽでの作業にも変化が表れてきています。受注作業だけでなく、パソコン業務も請け負えるようにパソコン操作を練習している方が数名います。近年、大きく売り上げを伸ばしている自主製品の作業工程（アクセサリの色塗り）ができるようになった利用者様があります。就Bでの公園作業を訓練している生活介護の利用者様があります。コロナ禍の中でもスキルアップを目指して、それぞれの目標に向かって頑張っています。

職員の働き方も変わってきました。オンラインで東久留米や清瀬の職員と会議をしたり、研修を受講したりし、出張に出かける時間を有効に使えるようになりました。デジタル化を進め、効率的な情報共有や文書作成・決済を推進しています。

コロナがもたらした、人々の価値観と社会のありようの変化において、次の時代に生きる視点を私達は学びとして進んでいかねばなりません。

社会福祉法人 龍鳳では、次年度計画を作成しているところです。たんぽぽの次年度の重点は、「支援の充実」と「工賃の向上」です。

利用者様の自立のためには、経済的な余裕も必要です。また、新たな報酬改定により、さらに工賃アップを目指さなければ、たんぽぽの存続が厳しい実態もあります。全国および東京の平均工賃15,000円くらいはお渡しできる事業所になりたいと考えています。

アフターコロナにおいて企業に必要なのは柔軟性と言われています。たんぽぽも仕事の内容が変化しつつあります。利用者様の自立と社会参加、自己肯定感を実現できるよう、新たな具体策に取り組んでまいります。

# 3月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12 開所日
13	14	15	16	17	18	19
20	21 春分の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

初めまして、よろしくお願いいたします

2月1日より入職致しました、杉山聡明（としあき）と申します。朝の送迎（運転）と日中の支援業務を担当させていただきます。たんぽぽの皆さんと一緒に元気に楽しく過ごしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

生活支援員 杉山 聡明

## 今後の販売会予定

練馬区の就労支援の一環として、販売会の機会を増やしていただいております。たんぽぽも3月に、下記の通り参加いたします。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

**ココネリ販売会 日時 3月14日(月)～16日(水) 11時～14時**  
**場所 ココネリ2階 ユニクロ横 販売スペース**